

令和５年度第１回木更津市史編集委員会 会議録

- １．会 議 名 令和５年度第１回木更津市史編集委員会
- ２．開催日時 令和５年７月２０日（木）午後２時１０分～３時３０分
- ３．開催場所 木更津市役所駅前庁舎 防災室
- ４．出席者 市史編集委員会委員 出席７名
成田篤彦委員長、實形裕介副委員長、石和田秀幸委員
大関真由美委員、駒早苗委員、谷畑美帆委員、品川昭和委員
教育委員会事務局５名
廣部昌弘教育長、秋元淳教育部長、鈴木和代教育部次長、平野佐知恵係長、
齋藤礼司郎副主幹
- ５．議題及び公開又は非公開の別
議題１ 木更津市史編集基本構想及び基本方針について（公開）
議題２ 令和５年度刊行の自然編（資料編）及び史料編３－１（古代編）進捗について
議題３ その他
報告 令和５年度編さん部会活動計画
- ６．傍聴人 なし

事務局（平野係長）

ただいまから令和５年度第１回木更津市史編集委員会を開会いたします。
これからの進行を務めさせていただきます。よろしくお願いいたします。
盛本委員、島立委員は欠席でございます。

会議につきましては、附属機関設置条例第６条第２項の規定により、成立しております。また、会議は公開で行ないますので ご了承下さい。

はじめに、廣部教育長よりごあいさつ申し上げます。

廣部教育長 皆さんこんにちは。教育長の廣部でございます。

各委員の皆様におかれましては、今年度第１回目の市史編集委員会にご出席いただきありがとうございます。

引き続き、これまでのご経験を活かして、お力添えいただきたいと存じます。

私も教育長になって三年目になりまして、前回の挨拶の折にも話をさせていただきましたが、私は生まれてから、学生時代も木更津でずっと過ごして参りました。しかし、本職に就いていろいろな方と話をする中で、新しい歴史であるとか、そんなこともあったのかということがたくさんありまして、私としては新しい市史編さんに関わることは大変誇りに感じているところでござい

ます。まだまだ市史の完成には時間を要すると思いますが、いろいろと委員の皆様のご意見を聞きながら整えさせていただいて、よりよい形で進んでいければというところでございます。

ぜひまた引き続き忌憚のないご意見をいただきながら、長く残っていくものだと思いますので、できるだけ他に誇れるものに仕上げてもらいたいところでございます。ご支援ご助言をよろしくお願いいたします。

以上です。

事務局（平野係長）

続きまして、就任された委員皆様より、お1人ずつ自己紹介をお願いいたします。

各委員 【自己紹介】

事務局（平野係長）

ありがとうございました。

続きまして、事務局職員の紹介をいたします。

各事務局職員

【自己紹介】

事務局（平野係長）

それでは、会議に入ります。

会議に入る前に、資料確認をお願いいたします。

【資料確認】

それでは、議事に入ります。

議長は委員長が務めることとなっておりますが、市史編集委員は、令和5年6月30日をもって任期が終了しております。従いまして、委員長、副委員長を改めてご選出していただく必要がございます。

委員長、副委員長が選出されるまでの間、議事の進行を、事務局が務めさせていただくことといたしたいのですが、よろしければ挙手をお願いいたします。

挙手多数

委員長ならびに副委員長の選出について、改めて事務局より説明いたします。

資料1ページに掲載しております附属機関設置条例第4条の規定により、委員長及び副委員長の選出は、委員の互選とされております。

そこで、委員長1名、副委員長1名の選出をお願いするものでございます。

互選につきまして、本委員会を円滑に進行するため、あらかじめ各委員へ、委員長・副委員長の互選について、書面にて通知させていただき、回答をいただきました。

回答の結果、成田委員に委員長を、實形委員に副委員長をお願いしたいと存

じます。ご意見がありましたらお願いいたします。

それでは、意見はないようですので、ご承認される方は挙手をお願いいたします。

挙手の数は、本日の出席者全員ですので、委員長を 成田 篤彦 委員
副委員長を 實形 裕介 委員に、お願いいたしたいと存じます。

それでは、委員長、副委員長が決定いたしましたので、代表して成田委員長
よりご挨拶をたまわりたいと存じます。

成田委員長 成田でございます。昨年に引続き委員長を務めることになりました。大変微
力ではございますが全力を尽くしますので、實形副委員長ともどもよろしく
お願いします。

市史編集委員会がおかげさまで皆様のお力により市史編さん事業に取り組
んでから約8年になります。今年度は古代編の史料編と自然編の資料編が刊
行される予定です。その後毎年刊行が続いてまいります。多くの課題があるか
と思いますが、心を新たにして事業に組みたいと思っております。

いずれにしましても、事務局、各部会、編集委員会が密接に連絡を取り、市
民に役立つ市史を予定通り刊行していきたいと思っております。どうぞよろし
くお願いします。以上でございます。

事務局（平野係長）

ありがとうございます。それでは、これからの議事進行を、成田委員長に
お願いいたします。

成田委員長 これより、議長を務めさせていただきます。よろしくお願いします。

本日の次第に沿って進めますが、議題1の「木更津市史編集基本構想及び基
本方針について」事務局の説明をお願いします。

事務局（鈴木次長）

私から、ご説明させていただきます。

市史編さん事業につきましては、平成27年度から実質的な作業がはじまり、
約8年が経っているところでございます。令和4年度に最初の刊行物が出る予
定で、計画を進めてまいりました。今後は毎年度刊行していく時期となってま
いりますので、市史編さんにかかわる基本的な部分を改めて確認させていただ
いて、今後進んでいきたいと思っております。今回3点ほど協議して頂きたい
ことがございます。

1点目ですが、刊行方法についてでございます。昨年度開催しております3
回の編集委員会の中で、木更津市史の刊行方法について、紙媒体ではなく、す
べての刊行物をアーカイブ公開（デジタル化）していく方向で進めていくこと
をご提案させていただいておりましたが、今回、このことについて、その方針

を取り下げ、具体的に申しますと、方向性としては、紙媒体で刊行するというそもその方針に戻したいと考えております。

本日の資料の4頁から11頁までが木更津市史編集基本構想及び基本方針でございますが、この中で、一部デジタルコンテンツを活用することが当初から言及されておりますが、すべての刊行物を書籍化せず、アーカイブでの公開のみを行おうとする大きな方針転換については、これまで、みなさまからもさまざまなご心配、問題点をご指摘いただいております。

編集委員の皆様からのご意見、3月に行われた部会長会議での議論も受け、4月から文化課担当者が可能な限り各部会のみなさんともお話をさせていただき、市史編さん事業が抱えている課題について共有し、文化課内、教育部内でも改めて協議を重ねてまいりました。その結果、基本的には、紙媒体を主体として刊行することを基本に本事業を進めていきたいという結論に至りました。

デジタル化することのメリットもございますし、現実的には、今年度刊行予定の自然編については、デジタル化のための国の補助金も交付されていることから、まだ調整しなければならないこともございますので、本日の編集委員会で確定的な提案をご提示できませんが、次回編集委員会を間を置かず開催させていただき、改めて、お示しさせていただきたいと考えております。

2点目でございます。各部会の進捗につきましては、のちほどご報告させていただきますが、基本方針に示されている刊行計画ですが、なかなかこのままでは難しいのではというところがございます。この刊行計画の見直しの是非についてご意見があれば、お聞かせいただきたく存じます。

3点目は、刊行計画とも合わせて、刊行内容についても、現段階で見直しが必要かということについてもご意見をいただければ幸いです。

なお、すでに作業が進んでいる今年度刊行予定の2編の取り扱いについては議題2でご説明したいと存じます。

今年度から委員をお引き受けいただいている方もいらっしゃいますし、長くかかわっていらっしゃる方もいて、全員に共有できる説明としては不足している部分もあるかと思っておりますので、ご不明な点をご質問いただければと思います。

本日、結論を出すということではなく、方向性を出すために意見交換をする機会をとらえていただきたく思います。私からは以上でございます。

成田委員長　　今、事務局から議題の説明がありました。皆様から質問・意見がありましたら、お願いします。

谷畑委員　　紙媒体で刊行するというのは良いとは思いますが、急な方針転換というところに不安を感じます。また、紙媒体で刊行することだと、デジタルでの刊行はなくなってしまうのでしょうか。

事務局（平野係長）

デジタルコンテンツにふさわしい内容のものはデジタルコンテンツ化を考えていくところです。基本方針の見直しの中で検討をしていきます。

鈴木次長 基本方針の中でもともと自然編や民俗編についてはデジタルコンテンツを活用していくことが明記されているのでこちらについてはやっていくつもりではありますが、全部をデジタル化にというのはいったん白紙にと。基本的には紙媒体を主体として、デジタル化の部分も残していくというような方向で検討していくということになると思います。

實形委員 紙媒体の刊行を主体にするというのは、まず資料編を紙媒体で刊行するという前提で作業してましたので、突然デジタル化ということになって、戸惑っていたところがあるのですが、現状はこれで戻ったので従来型で調査して、翻刻して、それを編集するという流れはやりやすくなると思います。前にも言いましたが現状の読者がデジタルについてきてないんです。読んでもう方はだいたい紙なので、市史研究がCDで出た時にほとんど買われなかったんですね。そういうニーズもあると思います。ただデジタルがいいという方もいます。紙が出たらまたそれをデジタルにするというのは次の段階としてやりやすいと思いますし、デジタル化するとその特性を活かしたかたちにできると、紙でできないことが出来るというのはいいことですので、それを含めて検討してもらおうというのがありがたいと思います。

大関委員 全面デジタル化でないというのは、私も紙媒体がいいと考えてましたのでありがたいと思います。その中でこれはというものについてデジタル化していくということでしたが、それがこの刊行計画の中にあるWEB版木更津市史ということでしょうか。

鈴木次長 WEB版木更津市史の内容をどのようにするかというところは、また皆さんの意見を伺いながら検討したいと考えています。今年度自然編をどうするかというのが近々の課題なのでそちらをどうしていくのかということについて部会の方たちと相談させていただこうと思っています。予算をとまうことではっきりといえないのですが、方向性について共有できればということでご理解いただければと思います。

駒委員 昨年度までのお話でデジタル作業部会を設けるという話がありましたがそれについてはどのようなのでしょうか。

鈴木次長 そちらについても次回の編集委員会で決めていきたいと考えています。

實形委員 デジタル作業部会は各部会から一人ずつ出していくとなっておりますが、各部会で共通認識があると思いますので、それを持ち寄ってすり合わせをして方向性とか中身を決めていくということをしないと落ち着かないと思います。今年度にこういうデジタル作業部会を立ち上げて、そこで話し合ったことをまた各部会に持ち帰ってというのを繰り返して意見を集約して着地点をつくるというの

を今年度着実に進めて行ってほしいと思います。

石和田委員 古代編は一番最初に刊行されるのですが、紙媒体になるのかどうかということがどうなるのかと……。古代編史料編は漢文が中心になるんですけど、前回著作権の問題が出まして、デジタルで載せることが出来る許諾が取れなかったときにその部分が掲載できないのは困るなど。紙媒体ならそういうことはないので。

成田委員長 それでは、議案1についてご承認される方は挙手をお願いいたします。

挙手の数は、本日の出席者全員ですので、承認されました。

事務局は対応をお願いします。

事務局（平野係長）

承知いたしました。

成田委員長 次に議題2「令和5年度刊行の自然編（資料編）及び史料編3-1（古代編）進捗について」事務局の説明をお願いします。

事務局（平野係長）

参考資料をご覧ください。史料編3-1（古代編）ですが刊行は書籍PDFによるWEB公開、木更津市史デジタルアーカイブに掲載されます。本文PDFのデータCDは昨年度作成済みとなっており、現在、担当者ごとに原稿を割り振り、修正作業を行うとともに掲載されている史料の底本の使用許諾を各出版社からとっているところでございます。11月までに原稿を完成させます。

自然編資料編についてですがフルテキストでデジタルアーカイブに搭載することとなっていました。自然部会部会員の総意として書籍PDFによるデジタルアーカイブへの搭載を選択し、原稿の校正の準備に入っているところでございます。掲載されている図表などで著作権のあるものは許諾をとってまいります。校正は11月までに終了します。

成田委員長 今、事務局から議題の説明がありました。皆様から質問・意見がありましたら、お願いします。

石和田委員 古代史ですが、漢字には異体字も多く、テキスト化するのに予想以上に時間がかかっています。遅れもありますが、修正で原稿が真っ赤になっているような状態です。11月までには終了させていきます。

鈴木次長 現在のところデジタルアーカイブへの搭載ということで進捗はこのようなのですが、本日方向性について承認いただいたのでここから古代編、自然編についてどのように書籍化していくかということなんですけれど、書籍PDFという形で進めていますので紙媒体でもWEBでも途中まで作業は同じですので、とりあえず作業を進めていただいているところです。

大関委員 デジタルアーカイブに掲載するつもりで作業しているということですが、

レイアウトはどのようにしているのでしょうか。

石和田委員 古代編は千葉県史の形を踏襲しています。県史をしていた方を中心に作業していますので。県史は業者に入ってもらって入力していましたので同様にしています。

成田委員長 自然編が一番良く似ているのは県が出しているレッドデータブックです。ちょっと追加しますと自然編を書籍割り付けでのPDFの形を選択したのはずっとそちらの様式で原稿を作成していたことと、木更津市史デジタルアーカイブを提供しているアデアック社から、デジタルでは50年100年残せるかどうかはわからないという話があって、やはり紙媒体で刊行したいと考えたからです。現在査読は部会内では2回終わっているところです。8月末までの原稿の完成を目指しています。

實形委員 紙媒体で刊行するとなると、資料編は普通の文章ではないので割付をするのが大変になるのでどのようにすすめていくのかということになっていくと思います。単純に入力が済めばできているということでもないのです。どこまでをどこでやるのかというのが……。理想は作ってしまえば印刷だけというのがいいのですが編さん委員がそこまでやるのか。また紙で刊行するとなるとまた進め方を考えないといけない。古代編がやっているように校正の回数は四回から減らせないのでその辺の作業工程を意識して行かないと計画通りに刊行されなくなってしまうのでその辺注意しないといけないと思います

成田委員長 PDFでWEBに公開した場合と紙媒体で刊行した場合とでは、扱いを変えねばならないと思っています。紙媒体ならそれほど情報が広がらないため少し詳しく掲載できますが、WEBに公開すると広く情報が拡散するので掲載の内容について考えなければなりません。そうするとWEB用と紙媒体用の二つの原稿を用意しなくてはならないのかなと考えたりもしています。

成田委員長 ほかに意見はありますか。

それでは、意見はないようですので、議題2についてご承認される方は挙手をお願いいたします。

挙手の数は、本日の出席者全員ですので、承認されました。

事務局は対応をお願いします。

事務局（平野係長）

承知いたしました。

成田委員長 それでは議題3「その他」について、事務局の説明をお願いします。

事務局（平野係長）

今後の編集委員会についてお話いたします。今年度第2回の編集委員会を9月4日（月）に開催し、「木更津市史編集基本構想及び基本方針」の改正につい

て諮らせていただきます。

成田委員長 今、事務局から議題の説明がありました。皆様から質問・意見がありましたら、お願いします。

それでは、意見はないようですので、議題3についてご承認される方は挙手をお願いいたします。

挙手の数は、本日の出席者全員ですので、承認されました。

事務局は対応をお願いします。

事務局（平野係長）

承知いたしました。

成田委員長 本日の議題は、以上です。次に、その他報告事項に入ります。報告事項について、事務局から報告をお願いします。

事務局（平野係長）

令和5年度編さん部会活動計画について報告いたします。報告をご覧ください。

報告読み上げ

以上でございます。

成田委員長 ただいま、事務局から 報告いただきました。このことについて、質問がありましたらお願いします。

最後に、その他 ご意見、確認事項などがありましたらお願いいたします。

成田委員長 質問（意見・確認事項等）がなければ、本日の議事は以上で終了とします。

それでは、議長の職を解かせていただきます。

本日は、ご協力いただき ありがとうございます。

事務局（平野係長）

成田委員長、議事進行、ありがとうございました。

以上を持ちまして、第1回木更津市史編集委員会を終了いたします。

なお、次回の市史編集委員会は、9月4日（月）となります。

本日は、ありがとうございます。

令和5年7月20日

議事録署名人 木更津市史編集委員会

委員長 成田 篤彦